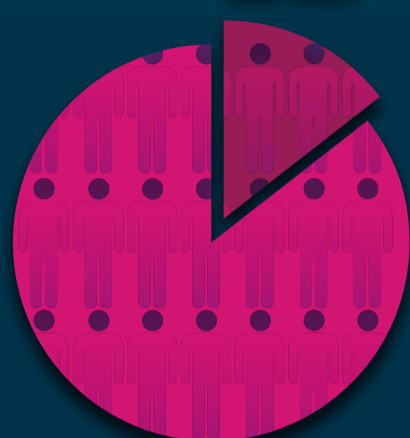


# Partners in the global fight against tuberculosis

## 結核の現状

**150万人**

が2013年に結核で死亡



**900万人**

が2013年に結核を発症

**第2位** 感染症ではHIVに次ぎ死因第2位

**95%** 結核による死亡の95%は中低所得国で起きている

中国:全世界の結核感染の24%  
インド:全世界の結核感染の11%

新規感染の半分は東南アジア及び西太平洋地域で起きている

人口当たりの新規感染はアフリカが最も多い



24% 中国



11% インド



ミレニアム開発目標 (MDGs) の目標6 (2015年までに結核の拡大を止める) は達成された

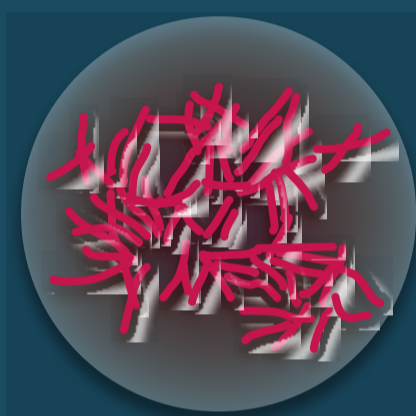


結核による死亡率は1990年から

**45%** 低下した

## 課題

多剤耐性結核 (MDR-TB)、  
超多剤耐性結核 (XDR-TB)、  
ヒト免疫不全ウイルス (HIV)



多剤耐性結核、超多剤耐性結核および重感染は現在高まっている問題であり、治療を更に困難にしている。

**48万人** 2013年は48万人が多剤耐性結核に罹患した。多剤耐性結核患者の9%が超多剤耐性結核を併せ持つ。

結核は、HIV罹患者の死因第1位である。

診断



結核および多剤耐性結核の診断は依然として深刻な課題である。

**300万人**の結核感染者が未診断

**18%** 世界の多剤耐性結核推定者数のうち、確認されているのは18%のみである。

長期治療計画



長期療法には多大な時間と労力を要するため治療の完遂は難しく、治療の中断により薬剤耐性が増加している。

- ・結核: 4剤を6ヶ月に互り服用
- ・多剤耐性結核: 6剤を18-24ヶ月に互り服用

## 我々の使命の遂行: 結核と闘う研究開発型製薬産業の取組み

治療法の改善と新規ワクチンを目指した研究開発



**3** 2012~2014年に認可された、新規治療法は3件

**50** 開発パイプラインにおいては、医薬品およびワクチンの研究開発プロジェクト50件が進行中 (うち開発後期10件、フェーズⅢ3件)

**15** 革新的な医薬品および、ワクチン開発のグローバルヘルスパートナーシップ15件が進行中

治療アクセスの拡充



**15** 治療、診断、ケアへのアクセス増加に向けたパートナーシップ15件が進行中

- ・新興国における科学的知見の共有、および製造能力のスケールアップ
- ・戸別訪問による結核診断への支援、遠隔型ヘルスセンターにおける医薬品欠品防止に向けたモバイルヘルスプログラム
- ・結核感染拡大抑制のための社会的・政治的活動の加速

参照

IFPMA編集 Health Partnerships Directory  
IFPMA編集 Pharmaceuticals R&D Projects to Prevent and Control Neglected Conditions, 2014 status report on pharmaceutical R&D to address diseases disproportionately affecting people in low- and middle-income countries (2015年1月発行)

